

## 2017 度 生涯発達心理学 第 8 回授業のまとめ（解答）

ク ラ ス		学籍番号				
氏 名			講義日		講義回	第 8 回
<p>第 8 講 児童期の発達</p> <p>児童期の身体的特徴</p> <p>児童期には頭が大きくなり、しまりのある体型へと発達するとともに、筋肉と骨格、神経系も発達、これらが協応することで、（ ①運動の持続性 ）や正確性、安定性や繊細さが見られるようになる。</p> <p>運動機能の発達は子どもの性格や（ ②社会性の発達 ）にも影響を及ぼし、運動発達が十分でないと、小学校の集団生活にも適応できない状況が生じる場合もある。</p> <p>学校生活の始まり</p> <p>岡本は書き言葉が導入されてからの書き言葉と話し言葉を「（ ③ 2 次的言葉 ）」、それ以前の話し言葉を「1 次的言葉」として 2 次的言葉の出現で 1 次的言葉が終わるのではなく 2 次的言葉に影響されて 1 次的言葉が変容することを提唱した。</p> <p>カウンティングの原理の「安定順序の原理」とは一定の順序で数詞をいうことを指し、「（ ④ 基数の原理 ）」とは数えて最後の数が全体の数を表すことを意味している。</p> <p>児童期はピアジェの認知発達理論の（ ⑤ 具体的操作期 ）にあたり、それまでの自己中心的な思考の仕方から脱却して、具体物に対して可塑性や（ ⑥ 保存 ）の概念が確立する。</p> <p>コールバーグは道徳性判断の発達を 6 段階で示した。それは、1. 「（ ⑦ 罪と服従 ）」、2. 「道具的目的と交換」、3. 「対人期待、対人関係、同調」、4. 「社会システムと良心維持」、5. 「権利と社会的契約」、6. 「（ ⑧ 普遍的倫理原理 ）」である。</p> <p>子どもは学校では、（ ⑨ 学校 ）の習慣や規則に従い、約束を守ることを強いられる。また、（ ⑩ 教師 ）からは能力や知識、人格、情動、価値観などの影響を受ける。</p> <p>児童期中期は、行動範囲も広がり、友だち付き合いも多くなって、グループ意識や連帯感も育つ。この時期の形成される凝集性が高く、閉鎖的な集団を（ ⑪ ギャングエイジ ）集団という。</p>						